

抗菌剤の慎重使用を徹底しましょう！

国産畜産物に対する消費者の皆様からの信頼に引き続き応じていくため、畜産農家や獣医師等の関係者が一体となって薬剤耐性対策に取り組む必要があります。

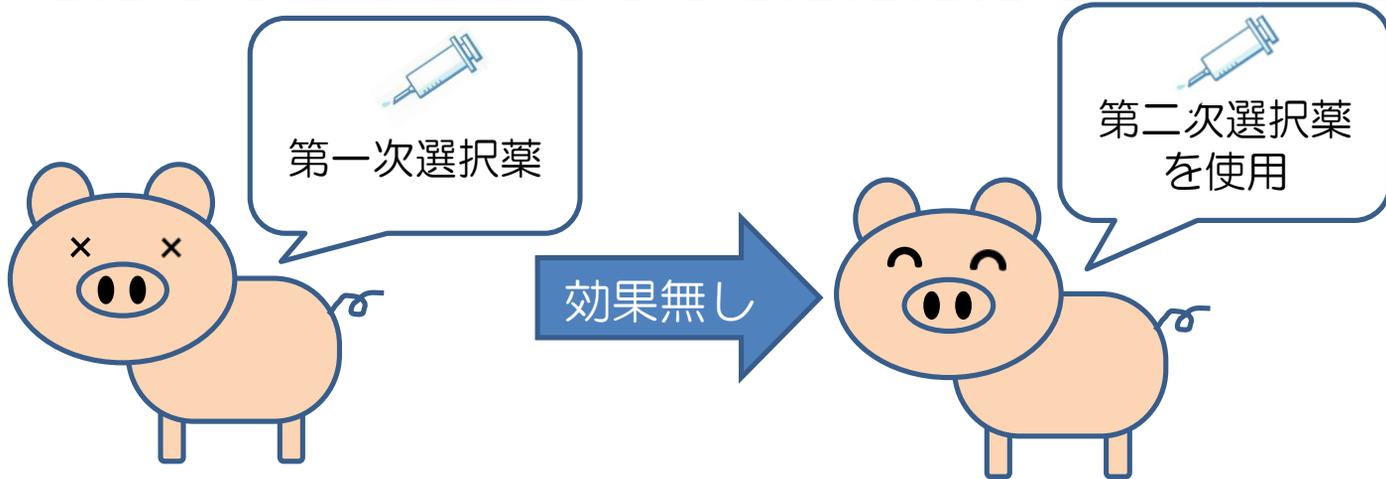
意識していますか？

抗菌剤には、第一次選択薬と第二次選択薬があります。

第二次選択薬は第一次選択薬が無効の症例に限り使用するものです。

※第二次選択薬は系統名ではフルオロキノロン、第3世代セファロスポリン、15員環マクロライド、コリスチンがあります。

(なお、コリスチンについては、平成30年4月から第二次選択薬となりました)



- 衛生管理の徹底やワクチンの使用により病気を予防し、抗菌剤の使用機会を減らしましょう。
- 適切な診断を受け、抗菌剤の使用を本当に必要な場合に限定しましょう。
- 抗菌剤を使用する場合、有効な抗菌剤を必要最小限の投与期間で使用しましょう。

毎年11月は薬剤耐性対策推進月間です。
皆様のご協力とご理解をお願いします。

岐阜県
中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1
TEL : 058-201-0530
FAX : 058-201-0531

